



# よい子 つよい子 できる子

新井小学校たより 5月号

平成30年5月25日

<http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/arai-s/>

## 笑顔輝け新井っ子！ 全力つくしてやりとげろ！

校長 川住晴彦

悪天候のために一日順延した運動会でしたが、さわやかな5月の風を受けて、最後まで競技や応援、マーチングドリル演奏などができたのは、何よりでした。応援してくださった保護者・地域のみなさま、ありがとうございました。

今年の運動会で、私は次の二つが印象に残りました。

一つ目は、4～6年生の応援団をリーダーとして、全校児童が一体となって頑張った応援です。まず、ほとんどの子どもが立候補で応援団員になりました。その時点でやる気を感じます。そして、短時間で応援歌や応援の振り付けをマスターしました。朝は、1～3年生の教室に向いて、クラスごとに応援の仕方を教えます。校長室に隣の1年生教室から応援の声が聞こえてきます。初めは、なかなか乗ってきません。応援団は、太鼓の代わりにタンバリンをもってきて士気を上げます。昼休みには、赤組白組が体育館とあいホールに分かれての練習です。本番では、応援合戦の時間は決まっていますから、交代もスピーディーにしなければなりません。もちろん、先頭に立って声を張り上げているのは、応援団長です。

本番では、そんな団長をはじめとした応援団の熱意に応え、1年生から6年生が声をそろえ、工夫した振付を覚えて声を限りに応援しました。両軍210名ずつですが、まとまりのある、精一杯の応援の姿だったと思います。

二つ目は、団体種目やリレーの出来栄です。指導する職員にお願いしたのは、「入場や退場の練習なんて間違っていなければだいたいいい。子どもは相手に勝ちたい、上手にやりたいと思っているのだから、どうやったらうまくいくかを考え、相談し、練習する時間をたっぷり確保してほしい。」ということでした。そうやって練習を重ねた結果（とはいえ、雨天で十分な練習はできませんでしたが……）が、あの姿だったのです。

徒競走やリレーなど、グラウンドで思いっきり走ることができ、新井っ子の笑顔が輝き、全力つくしてやりとげた運動会でした。

精一杯の応援の声や歓声が大きく響き、また、それぞれの成長ぶりやがんばりを保護者や地域のみなさまから間近で見ただけだと思います。今後も、一步一步進んでいきますので、温かく見守っていただき、支えていただければ幸いです。

地域のTさんからお電話をいただきました。「文化ホールの脇の歩道を散歩していたら、放課後児童クラブの子どもだと思うが、一人の女の子が『こんにちは。』とあいさつをしてくれた。私も返すと、他の子たちも口々に『こんにちは。』と……。新潟市の事件の後だったので、自分からあいさつするのをためらっていたのだが、よい子どもたちだとうれしかった。」と。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





# 運動会スローガン『笑顔かがやけ新井っ子！全力つくしてやりとげろ！』



2つの大きな輪になって踊った「あらいばやし」の様子です。民謡保存会の方をお招きして、踊りを教えていただきました。縦割り班で教え合う子どもたちの姿、地域や家族の方と並んで踊る姿等、たくさんの笑顔が見られました。  
多くの方からご参加いただきありがとうございました。





# 第1回学校運営協議会を行いました

5月11日(金)に、第1回の学校運営協議会を行いました。今年から委員になった方も多いため、新井小学校の様子を知っていただこうと給食試食会、昼休みや掃除の様子、授業を参観していただきました。和やかな雰囲気の中で子どもと一緒に給食を食べたり、運動会の応援練習の様子を見ていただいたりすることを通して、ありのままの子どもの姿や学校の教育について活発な意見交流が行われました。改めて、学校と地域が力を合わせ、それぞれの立場で子どもたちの成長を支えていこうと確認し合いました。

また、委員の皆様からは、今年度の学校経営方針等について承認していただきました。今後も、子どもや教職員、保護者、地域にとって魅力あるコミュニティ・スクールとなるように取り組んでいきます。



## 〈学校運営協議会委員〉

No.	氏名(敬称略)	所属等	備考
1	新井 時男	白山町町内会長	会長
2	清水 泰男	矢代地域づくり協議会長	副会長
3	小川喜美子	姫川原地区コミュニティ運営協議会幹事	事務局長
4	保坂 謙一	五日市校区協議会長	
5	八木 清	前「新井小学校を応援する会」会長	
6	宮田 友子	主任児童委員	
7	宮腰トク子	地域人材コーディネーター	
8	佐藤 賢治	上廣道徳教育アカデミー 研修支援コーディネーター	
9	相浦 剛	PTA 会長	
10	松橋 賢一	PTA 副会長	
11	横田真由子	PTA 副会長	
12	戸田 麻美	PTA 副会長	
13	大塚 一枝	斐太南保育園 主任保育士	
14	川住 晴彦	校長	
15	三田村尚子	主幹教諭	事務局次長

## 〈活発な意見交流がされました〉

以前に比べて挨拶ができるようになった。子どもたちから気持ちよく声をかけてくれた。

はねうま学級の児童を含めて、交流学級の担任が全員クラスの子どもの意識をもってほしい。

働き方改革と言われているが、特別支援教育支援員さんと担任の情報交換はいつしているのか？

18歳に社会に出て行くことを見据えて育てることが大切だ。社会に通用しないことは指導すべき。



下じきを使うように指導があった。教室に掲示されていた「個人の目標」は、丁寧な字できれいに書かれていた。

深々とイスに座っている子、前のめりになって課題に向かっている子、様々だった。机のサイズは合っているのか？

教室の座席はどう決めているのか？

学校は右側通行ではないのか？階段はぶつかるのではないのか？

# 今年度の校内研修

## 〈研究主題〉 「主体的に対話し、高め合う児童の育成」

昨年度の成果として、課題設定によって話し合いが活発になったということが挙げられます。興味関心のある課題、意外性のある課題、生活や既習事項との結びつきがある課題などが有効でした。また、同じ考えの小集団をつくることで共同して考えを表出しようとする姿、自分の立場を決めて話し合いに参加することで課題に対する考えの変化が分かり、筋に沿って話し合いに集中する姿が見られました。また、小集団での話し合いを重ねることで、話し合いの姿勢やスキルは身に付きつつあります。

今年度は、昨年度の研究主題を継続し、すべての子どもが進んで話し、考えを伝え合うだけでなく、話し合う中で折り合いを付け合い、新しい考えを生み出していく姿を目指したいと考えました。子どもが「授業は、自分が主体なのだ」という意識をもち、主体的に対話し、高め合う姿を育てていきます。

### 1 主体的な対話へと結びつく授業づくり

子どもが話したくなる課題を設定することで、「もっと話したい」「友達の意見を聞きたい」という思いにつながり、それが主体的な対話へとつながっていくと考えます。

今年度も全職員が公開授業を行います。第一弾は川住校長の授業です。

5月2日(水)に、6年1組で国語の授業をしました。段落の順番を入れ替えた説明文の文章を正しく並べ替えるという課題でした。

自分が正しいと思う順番の根拠、他の意見(順番)がおかしいと考える理由を進んで話す子どもたちの姿を見て、問題意識の持たせ方や子どもの反応や意見をつなげる教師の技術を学び、職員は大いに刺激を受けました。これから来年1月まで、続々と授業公開が行われます。

### 2 自信をもって話す能力(スキル)を付ける指導

新井中学校区の全小中学校で共通に取り組む

「話す力3つのポイント」を意識させます。

- ① 大きな声ではっきりと話す。
- ② 相手の顔を見て話す。
- ③ 意見があったら進んで話す。

朝学習や国語授業などで音読、朗読、暗唱、群読などを実施し、張りのある声で音声発表(自主的に活動ができるようにシステム化)に取り組めます。各学年で「どの教材で、どの時間に」を統一し、スピーチや自分たちで話し合いを進める経験を積み、次第にマニュアルなしの自由な話し合いができるように指導・支援していきます。



### 3 安心して自己表出ができる、思いを語れるような受容的・自治的な学級集団づくり

「対話」を成り立たせるには、どんな意見でも受容される学級であることが土台となります。そのため、傾聴の態度を身に付けたり、テーマに沿って自由に話し合う経験を積んだりすることが必要です。聞く力6つのポイント(新井中学校区共通取組)を意識することで、相手を尊重する態度を育てていきます。

- ① 口をとじて 最後まで
- ② 話している人に顔を向けて
- ③ 返事をしたりうなずいたりして
- ④ 大事なことは何か考えながら
- ⑤ 話す人の思いを考えながら
- ⑥ 自分の考えと比べながら